

京都市の都市特性

千年を超えて、都市の機能・文化が遮断されずに継承・発展
レジリエンスを目指し、SDGsを体現してきたまち

多様性・包摂性 奥深さ



SDGs: 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。「誰一人取り残さない」を理念として、2015年に国連によって採択された、全世界で取り組む17の国際目標

レジリエンス: 「回復力」を意味し、様々な困難な事から、ダメージを受けて落ち込むことがあっても粘り強く元に戻りながら、以前よりもより良く立ち直る力

全体計画

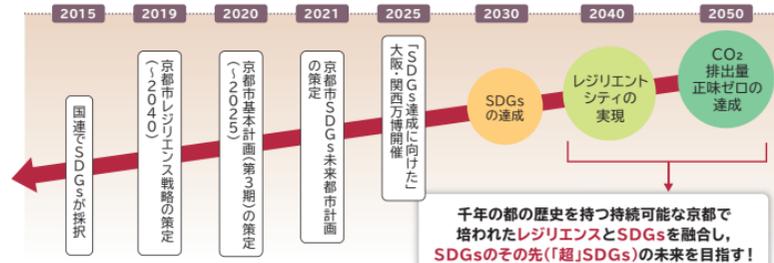
千年の都・京都発！SDGsとレジリエンスの融合

しなやかに強く、持続可能な魅力あふれる都市を目指して

2030年のあるべき姿

『あらゆる危機を乗り越え、将来にわたって人々がいきいきと暮らせる、魅力と活気にみちた持続可能な京都のまち』

課題 地球温暖化の影響の顕在化・深刻化、人口減少の本格化、グローバル化の進展、産業構造の転換と厳しい京都市財政



本計画で実施する取組と目指すターゲット

将来ビジョン(2030年までに実施)

1 豊かに暮らせるまち(文化・芸術創生、経済・産業発展等)⇒主に「経済」に貢献

- 文化の持続可能性を高める若い手育成と機運醸成
- 伝統と革新が融合した成長戦略の推進
- 文化による経済活性化を都市の持続可能性につなぐ取組の推進
- 文化庁、京都市立芸術大学(京都芸大)の移転
- 市民生活と調和した観光の推進
- 文化財の「保存と活用」の好循環の創出
- 地域企業への持続的発展の支援
- 文化遺産を大切にしまちづくり
- 京の食文化の継承・発信

2 人が育つまち(人口減少・少子化対策等)⇒主に「社会」に貢献

- 未来の若い手をまわす子育て支援の推進
- 移住・定住促進
- 誰もが活躍できる社会環境の構築・整備
- 高い質の幼児教育・保育の提供
- 多様な魅力と個性を生かしたまちづくりと移住・定住促進
- 京都で学ぶ魅力の向上
- 多様な働き方実現と雇用のミスマッチ解消

3 支え合い、助け合うまち(地域コミュニティ活性化等)⇒主に「社会」に貢献

- 地域力・市民力の更なる強化
- 誰かやで安心安全な地域づくりのための関係機関等の連携促進
- 地域社会の若い手不足解消に向けた多様な力の参加促進
- 多様な包摂性のあるまちづくりの推進
- 地域生活の多様な課題への対応の推進
- スポーツが身近にある健康で心豊か暮らしの推進
- 大学の枠を超えた学生活動の推進
- 子育て家庭や子ども、若者の孤立防止

4 快適で安心安全なまち(景観・町並み保全・創生、空き家活用促進、防災等)⇒主に「社会」に貢献

- 景観・町並み、良好な居住・生活環境等の総合的な対策の推進
- 安心安全を支える都市環境の創出・提供
- 安心安全な生活環境を実現する取組の推進
- 建築物の安全の確保、質の向上、歴史的町並み・京町家等の保全・継承
- 生活安全の推進
- 多様なニーズに応える公開空間・緑の創出・育成管理

5 災害に強いまち(防災・減災、テロ対策、インフラ老朽化対策等)⇒主に「社会」に貢献

- 市民・企業等と連携した防災まちづくりの推進
- 災害発生時に都市機能を維持するための強靱な社会インフラ整備
- 地域力・市民力を生かした防災・減災力の更なる向上
- 防災まちづくりの取組
- 地域防災力の充実強化
- 都市の活力・レジリエンス向上に向けた道路整備

6 環境にやさしいまち(地球温暖化対策等)⇒主に「環境」に貢献

- 環境先進都市としてのモデルとなる取組の推進と発信
- 持続可能な社会の若い手と環境に優しい社会経済の仕組づくり
- 自然環境保全に向けた取組の推進
- 低炭素型のかくしや持続可能なエネルギー社会の実現
- 「伊予・京町」の更なる推進
- 品格のある市街地景観の形成
- 水環境の保全
- 循環型社会の構築
- 農林業の推進

自治体SDGs推進(2021~2023年の3年間に実施)

